

平成24年度 事業報告

自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月31日

昨年暮れに誕生した「新政権」は日銀に対し、2%の物価上昇目標の設定を確立させ、更に公共事業復活等、日本経済の再建を第一とする、金融緩和政策を発表しました。政策発表と前後して、円安、株価の上昇等経済環境に変化が見られ始め、リーマンショックで大きく落ち込んだ当地会員企業の製造品輸出高をも早期に回復が望めるのではという、期待が膨らむ現状となっております。相変わらず予断を許さない厳しい経済環境下ではありますが、平成24年度事業活動につきましては、法人会基本指針を忘れることなく、納税意識の向上、会員の自己研鑽、及び地域社会への貢献活動を展開するとともに、組織基盤の充実に努めました。

1. 組織の充実・強化

(1) 会員増強運動

本年度も9月から12月までの4ヶ月間、組織基盤強化のための会員増強運動を展開いたしました。本年度も長期化する経済不況の影響を受け、会社整理、清算から経費削減を理由とした退会が相次ぐ中、「法人会活動のPR」を行なうなど、懸命に獲得運動を展開いたしました。その結果、前年同時期の会員数を上回り、加入率をアップすることができました。今後におきましては、これまで以上に法人会活動を活発に展開し、当会の自己PRに努め、早期に加入率70%台を回復すべく努めてまいります。

(2) 支部組織の充実

平成24年度会員数が、前年を上回ることができたことは、各支部長を中心とした支部組織の団結力の強さの表れであると考えております。支部内の会員相互の意思疎通を図る意味から、今後におきましても、会員増強の為の支部会議を開催してゆく予定です。

< 会員数及び加入率の推移 >

年 月	所管法人数(社)	会員数(社)	加入率(%)
平成20年 12月	7,716	5,443	70.5
平成21年 12月	7,704	5,214	67.7
平成22年 12月	7,610	5,216	68.5
平成23年 12月	7,576	5,222	68.9
平成24年 12月	7,519	5,225	69.5

< 会員異動状況 >

平成23年 12月末	会員数	5,222社
平成24年	入会数	201社
〃	脱会数	198社
平成24年 12月末	会員数	5,225社

(3) 青年部会・女性部会の会員数

年 月	青年部会	女性部会
平成24年3月末	48人	79人
平成25年3月末	46人	71人

2. 研修関係

地域の関係団体との連携を密にし共同で研修会を開催する等、研修機会を増やしました。定例の研修会参加者がやや減少する一方で、生活習慣病予防健診が年々増加しています。又、国税庁が推進している国税電子申告・e-Tax についても青年部会、女性部会で研修機会を設け利用促進に努めました。

3. 租税教育活動関係

租税教育活動につきましては、「法人会本来の活動」と位置づけ、親会、部会、支部を問わず、全員が一丸となって、取り組んでおります。女性部会が平成23年度から活動を開始した、『税に関する絵はがきコンクール』も実施され、今後においても活動として、計画されております。

(1) 第12回 親子夏休み税金教室開催

1. 目的・内容 各種公的機関を訪問し、施設の必要性和税の使われ方を学ぶことで、大切さを認識してもらうことを目的に開催している。バス移動中には、租税教育用ビデオを鑑賞し、税について学ぶ。
2. 開催日 平成24年8月3日(金)
3. 対 象 浜松市内の小学生4・5・6年生の児童、保護者
4. 場 所 浜松市消防局、浜松市西部清掃工場、浜松市フルーツパークを見学
5. 参加者 親子37名 役員他19名

(2) 第1支部天竜ブロック 税金クイズの実施

天竜区二俣町での「天竜産業観光まつり」に協賛。物産展に「浜松東法人会」として出店し来場者に、「税金クイズ」に挑戦してもらい、併せて「税の大切さ」と法人会活動のPRを行いました。

1. 開催日 平成24年11月3日(土)
2. 場 所 天竜区二俣町 クローバー通り商店街
3. 内 容 来場者に「税金に関するクイズ」に参加してもらい、法人会活動のPRを行う。
4. 対 象 小学生を主体とした一般来場者
5. 参加者 800名

(3) 第1支部北遠ブロック 税金クイズ大会の開催

天竜区佐久間地区の産業祭「フェスタさくま」に協賛。まつりのイベントとして地元小学生を対象に「税金クイズ大会」を開催しました。参加者には「税金」について勉強になったと好評でした。

1. 開催日 平成24年11月4日(日)
2. 場 所 天竜区佐久間自治センター
3. 内 容 「税金」に関する〇×式クイズを行い、成績上位者10名を表彰
4. 対 象 小学生を主体とした一般来場者
5. 参加者 100名

(4)第6回 子ども税金クイズフェスタ開催

この大会は、租税教育活動の主目的である、「税の大切さ」のPRはもとより「法人会活動」をも、広くPRする目的で開催しております。浜松市内の各小学校、あるいは各スポーツ少年団に参加依頼を行い、予定通り大きな規模で開催できました。

1. 目的 小学生に「税」は身近なものであり、大切なものであるということを知ってもらう。
2. 開催日 平成24年11月18日(土)
3. 対象 小学生3～6年生
4. 場所 えんてつホール (遠鉄百貨店新館8F イベントホール)
5. 内容 第1部 「税金」に関する〇×式クイズを行い、成績上位者10名表彰
第2部 『プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の選手21人と遊ぼう』
フットサルグッズ抽選会を実施
6. 参加者 参加児童 220名 保護者 100名 他関係者 50名 計370名
7. 後援者 国税庁
浜松市
浜松市教育委員会
中日新聞東海本社

(5)「税に関する絵はがきコンクール」の実施

女性部会が中心となって、浜松市内の公立及び私立小学生5～6年生を対象に、第2回「税に関する絵はがきコンクール」を実施いたしました。この催しも今年で第2回目となり、質の高い応募作品が多数寄せられ、作品の審査にも力が入りました。本活動は、今後も租税教育事業の一環として継続して参ります。

1. 開催期間 平成24年10月1日～12月31日
2. 応募方法 直接持参、または郵送にて受付(郵送の場合は受取人払い)
3. 応募数 5校 281枚
4. 審査結果 最優秀賞 1名、優秀賞 1名、女性部会長賞 3名、入選 2名 以上7名が受賞
5. 後援者 国税庁
浜松市
浜松市教育委員会

4. 社会貢献活動関係

社会貢献活動につきましては、主に青年部会、女性部会が中心となって以下の事業を実施いたしました。それぞれの活動が年数を重ねるにつれて、地域に根ざした活動となっており、どの事業も一定の評価をいただいております。

(1) 第14回 (社)浜松東法人会杯争奪 浜松キッズU-9 8人制サッカー大会

1. 目的 サッカーを通じ人間関係を学び、スポーツの楽しさ、体力強化、フェアプレー精神の涵養等を基本としている一般財団法人静岡県サッカー協会の主旨に賛同し大会を支援する。
2. 開催日 平成24年9月1日(土)～平成24年10月6日(土)
3. 内容 小学3年生を対象とした最年少の公式戦
予選リーグ、2次リーグ、決勝トーナメントを行い成績上位の8チームまで表彰
4. 主催 一般財団法人 静岡県サッカー協会西部支部
5. 協賛 (社)浜松東法人会
(社)浜松東法人会 青年部会
6. 参加者 71チーム 選手 957名
7. 大会結果 表彰チーム
☆優勝 Oisca Fc Estrella ☆第5位 浜松大瀬サッカースポーツ少年団
☆準優勝 F. C. フォルミーガ ☆第6位 Honda FC
☆第3位 SANTOS FC SOCCER ACADEMY JAPAN ☆第7位 雄踏サッカースポーツ少年団
☆第4位 LIBERO イエロー ☆第8位 聖隷T

(2) 第9回 知的障害児支援「陶芸教室」の開催

1. 目的 知的障害児の自立への援助を行う。
2. 開催日 平成24年7月29日(日)
3. 内容 知的障害者支援施設NPO法人「地域生活応援団 あくしす」に通う子供達に、青年部会員と静岡文化芸術大学陶芸部の学生がサポートし、「取り皿」を制作しました。作品は静岡文化芸術大学祭『碧風祭』において販売し、「あくしす」の活動資金に充てています。また、今回は、大平台高校から先生、生徒さん3名の参加がありました。
4. 協力 静岡文化芸術大学陶芸部
5. 参加者 55名

(3)第11回 健康ハイキングの開催

今回は河口湖を経て、山梨県笛吹市周辺がハイキングの舞台となりました。すずらん群生地駐車場から水ヶ沢林道を新道峠へ登り、そこから尾根道をすずらん峠へというコースです。鮮やかに色付いた紅葉の中、眼下には河口湖を、そして河口湖の向こう側には富士山を望むという、本当に贅沢な景色の中を歩くことができ、ハイキングを満喫した一日でした。

1. 目的 健康増進、自然とのふれあい
2. 開催日 平成24年10月20日(土)
3. 場所 山梨県笛吹市芦川町ハイキングコース
4. 参加者 65名

(4)東西法人会合同新春チャリティー講演会の開催

新春恒例のチャリティー講演会を公益社団法人浜松西法人会と合同にて下記の日程にて開催しました。今回も来場者に募金をお願いし、お寄せ頂いた善意(合計17万円)につきましては、平成25年3月1日に浜松市社会福祉協議会の「善意銀行」へ寄贈いたしました。

1. 開催日 平成25年1月23日(水)
2. 場所 浜松市中区 アクトシティ浜松 大ホール
3. 演題 「夢は必ずかなう」 講師 舞の海 秀平氏
4. 参加者 1,100名

(5)「使用済切手」の回収と寄贈

今年も女性部会が地域社会貢献活動のひとつとして、継続して実施しております。各事業活動の開催ごとに、数多くの会員から持ち寄っていただいた30kgもの使用済切手を、海外の医療援助や施設作りの資金に役立ててもらう為、平成24年7月26日(木)に公益財団法人結核予防会へ寄贈させていただきました。

5. 福利厚生事業

協力受託保険会社3社(大同生命保険(株)、AIU保険会社、アメリカンファミリー保険会社)と会員企業、従業員、経営者への福利厚生制度の普及に努めました。今年度も(財)全日本労働福祉協会と共に「生活習慣病予防健診」を8月3、4日及び3月8、9日の計4日間実施し、247名にご利用いただきました。

6. 広報出版関係

(1)広報・啓蒙活動

「税を考える週間」(11月11日～11月17日)を中心に法人会のPRと税の啓蒙活動を行いました。また、税の啓発用マンガ本を広く配付し、法人会ポスターを役員へ配り会社へ掲示するなどお願いしました。

(2)広報誌「East」の発行

当法人会では年3回広報誌を発行しており、今年度は以下の通りです。又、関係団体協賛研修会のチラシを広報誌へ差込み告知したり、研修会受付にて配付し関係団体研修会への呼びかけを積極的に行いました。